

平成23年度 入学試験問題

看護科学域博士前期課程：専門科目

試験時間 14：30～16：00 90分間

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は3ページである（表紙を除く）。
3. 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答用紙の所定の記入欄には、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入すること。
5. 解答は、9領域中2領域について必答とする。まず、各自が専攻する専門領域を選択して、その問題について解答しなさい。
さらに、他の領域から一領域を選択して、その問題について解答しなさい。
6. 問題冊子の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
7. 試験終了まで退室してはいけない。
8. 解答用紙は必ず提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

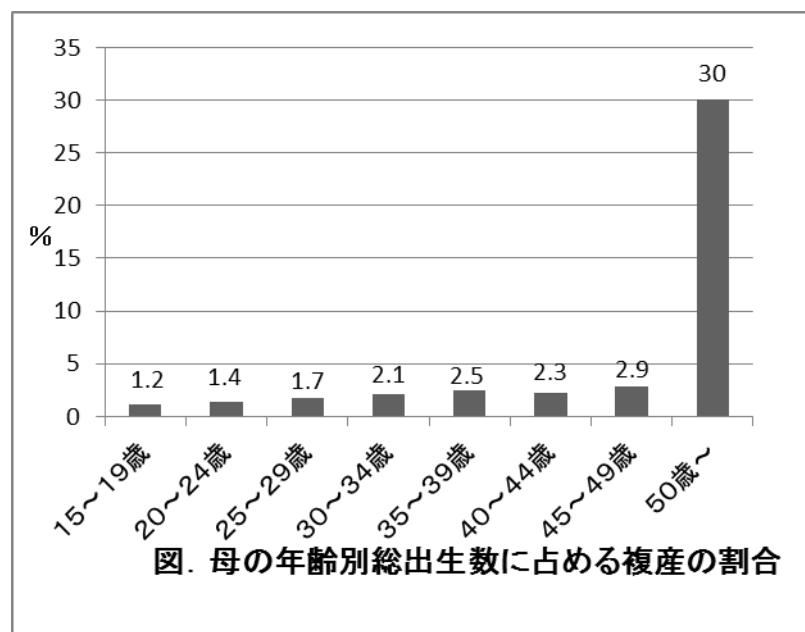
1. 母性看護学領域

次の表・図は、人口動態調査の結果を示したものです。表1・2及び図から読み取れる、近年の出産の特徴について記述し、さらに、その特徴を踏まえて、周産期における助産師の役割について述べなさい。

年 母年齢	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2009
15～19歳	14576	17854	17478	16075	19729	16531	14620
20～24	296854	247341	191859	193514	161361	128135	116808
25～29	810204	682885	550994	492714	470833	339328	307765
30～34	388935	381466	356026	371773	396901	404700	389793
35～39	59127	93501	92377	100053	126409	153440	209706
40～44	6911	8224	12587	12472	14848	19750	30566
45～49	257	244	224	414	396	564	684
50～	1	1	0	0	6	34	20

年 母年齢	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2009
15～19歳	3.6	4.1	3.6	3.9	5.4	5.2	5
20～24	77.1	61.7	44.8	40.4	39.9	36.6	36.1
25～29	181.5	178.4	139.8	116.1	99.5	85.3	86.6
30～34	73.1	84.9	93.2	94.5	93.5	85.6	94.5
35～39	12.9	17.7	20.8	26.2	32.1	36.1	44.6
40～44	1.7	1.8	2.4	2.8	3.9	5	7.3
45～49	0.1	0.1	0	0.1	0.1	0.1	0.2

(表1・2：平成21年人口動態調査 1 B上巻 出生 第4.6表より作成)



(図：平成21年人口動態調査 2 B中巻 出生 第12表より作成)

2. 小児看護学領域

「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」は、子どもの基本的人権を保障するために定められた条約で、1989年の第44回国連総会において採択され、1990年に発効しました。

「児童の権利に関する条約」について次の設問に答えなさい（字数制限は設けませんが、解答用紙表面1枚に2つの解答が収まるように記述すること）。

問1. 「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」には、子どもの権利について主にどのようなことが定められていますか。簡潔に説明しなさい。

問2. 小児医療の現場で子どもの権利を尊重する看護について具体的な事例を挙げ、あなたの考えを述べなさい。

3. 成人看護学領域

問1. 終末期ケアを実践するうえであなたが有効と考える理論または概念枠組みを一つ選び、その概要を述べなさい。

問2. その理論または概念枠組みの看護研究への応用について例を挙げて説明しなさい。

4. 高齢者看護学領域

問1. 高齢者の加齢に伴う生理的、心理的变化のポイントを述べなさい。

問2. 上記の変化を考慮し、高齢者への感染予防教育について例をあげて述べなさい。

5. 地域・在宅看護学領域

次の設問AとBのどちらか1題を選択し、解答しなさい。

【A】

世界保健機関（WHO）がオタワ憲章（1986年）で提唱したヘルスプロモーションについて、以下の設問に答えなさい。

問1. ヘルスプロモーションの定義について、あなたの考えも含めて説明しなさい。

問2. ヘルスプロモーションの考え方を取り入れた地域看護実践について、具体的な事例をあげて説明しなさい。

【B】

家族には潜在的なセルフケア能力があり、訪問看護師は、家族が主体的に健康問題に対処できるように援助する。在宅ケアにおける家族とのパートナーシップと家族のエンパワーメントについて、具体的な事例を用いて説明しなさい（字数制限は設けませんが、解答用紙表面1枚に収めること）。

6. 地域精神看護学領域

双極性障害について知るところを述べなさい。さらに、この障害を持つ患者の入院時の看護の要点について述べなさい。

7. 地域看護活動評価論領域

看護学で健康課題となる事象に、疫学ないし公衆衛生学の内容の一部であるスクリーニングを行うことについて、論じなさい。

8. 看護倫理学領域

ある新聞の一般読者からの投稿欄に、以下の記事が掲載されていました。

「85歳の母は、病院で肺炎で亡くなりました。最後の入院で、危機を脱した骨と皮ばかりの母に、CT検査があつたり、血液検査と称し何本も採血されて涙が出ました。極度に弱っている母への負担は相当だとわかっていても、病院を追い出されないことへの暗黙の条件のような気がしていました。つらい検査を毅然と断れなかった私は墓参りの度に母にわびています。適正な医療行為を望んでやみません。」

これについて、以下の問いに対するあなたの考えを述べなさい。

問1. このケースには、どのような倫理的問題が潜んでいますか。

問2. このケースの場合、①適正な医療行為とは何ですか。また、②適正な医療行為が行われなかった理由として何が考えられますか。

問3. 適正な医療行為が行われるために、看護職者として何を行うことができますか。

9. 看護管理学領域

「よりよい看護」、「看護の質の向上」という言葉がよく使われますが、何をもって「質の高い看護」とするのか、「看護の質」を示す指標を3つ以上挙げなさい。

そのうちのひとつを選び、その指標に影響を与える要因や看護の質の向上に係る課題について論じなさい。